

市民委員会資料

所管事務の調査（報告）

川崎競輪場施設整備について

資料1 川崎競輪場施設整備について

経済労働局

平成27年11月25日

1 競輪事業の目的

- 「地方財政への寄与」
 ・川崎市一般会計への繰出し（主に義務教育施設整備に充当）
 ※昭和24年～平成26年までの累計繰出金額 1,277億円
- 「地域社会への貢献」
 ・地域経済効果と雇用創出効果
 ・市民に親しまれる競輪場として、富士見周辺地区の魅力を高め、まちづくりに貢献
 ・JKA（競輪振興法人）交付金を通じた補助事業
 機械工業の振興と公益増進のための補助

2 富士見周辺地区（川崎競輪場）の立地環境

- 富士見周辺地区には、川崎競輪場をはじめ体育館、県立図書館、教育文化会館など様々な市民利用施設が集積
- 川崎競輪場や富士通スタジアム川崎などのレクリエーション施設がその多くを占めている。
- 市域の核となる大規模公園である富士見公園では、公園本来の緑地や広場が少なく、都心における総合公園としての機能回復が求められている。
- 市民利用施設は、老朽化や耐震面などで課題があり、施設の更新・再整備が必要となっている。

3 競輪場再整備の方針

富士見周辺地区整備基本計画（H20.3策定）

- 富士見周辺地区の整備目標
「都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生」と「スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点機能の強化」をめざす。」
- 競輪場整備の方向
「公園との調和に配慮した上で、既存バンクを活用し現位置でコンパクト化するとともに、できる限り多目的な活用をめざす。」

富士見周辺地区整備基本計画に基づく整備の考え方(H22.3策定)

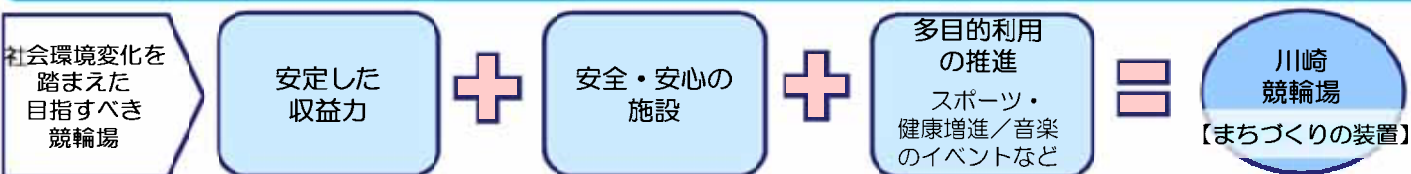
- 富士見公園の再生に向けた基本方向
「都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生のため、公園内に立地する老朽化した施設の再編にあわせて、公園の本来機能である緑地や広場の確保に努め、魅力ある緑のオープンスペースを創出し総合公園としての機能回復を図ります。」
- 競輪場整備の方向
「事業費・持続的な事業運営・財源確保等を総合的に判断し、競輪施設等整備事業基金を財源として、既存バンクを活用しながら、コンパクト化の整備を段階的に進めていく。」

川崎競輪場再整備基本計画（H22.9策定）

- 「公園との一体感を感じられる空間づくり」、「持続可能な事業運営の確立に向けた施設づくり」をメインコンセプトとしてコンパクト化を行い「富士見周辺地区のまちづくり」に貢献

4 再整備基本計画策定後の社会環境の変化

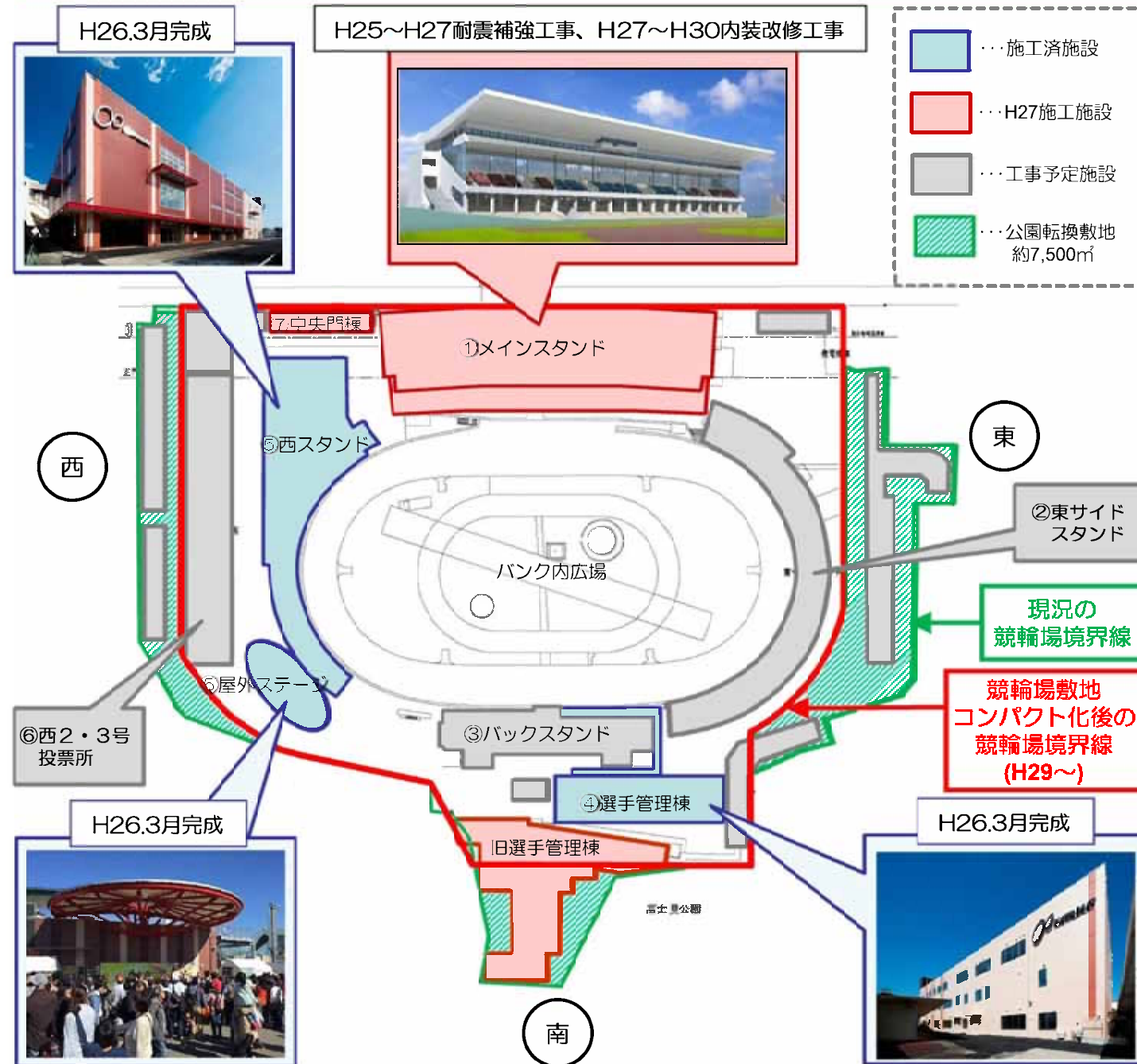
- 東日本大震災発生（平成23年3月11日）
 - ・東日本大震災発生を契機に、防災意識が劇的に変化
 - ⇒特定建築物（耐震改修促進法）であるメインスタンドの耐震強度の引き上げ
 - ⇒避難施設として重要建築物（川崎市地域防災計画）である競輪場の耐震対応強化
- 東京オリンピック・パラリンピック開催<2020年夏>決定（平成25年9月）
 - ・オリンピック種目「KEIRIN」の注目度、自転車競技への関心の高まり
 - ・スポーツ全般に対する関心・健康意識の高まり
- 羽田空港再拡張・国際化（平成22年10月）
 - ・外国人ツアー客増加、インバウンド強化



5 社会環境の変化を踏まえた競輪場施設整備

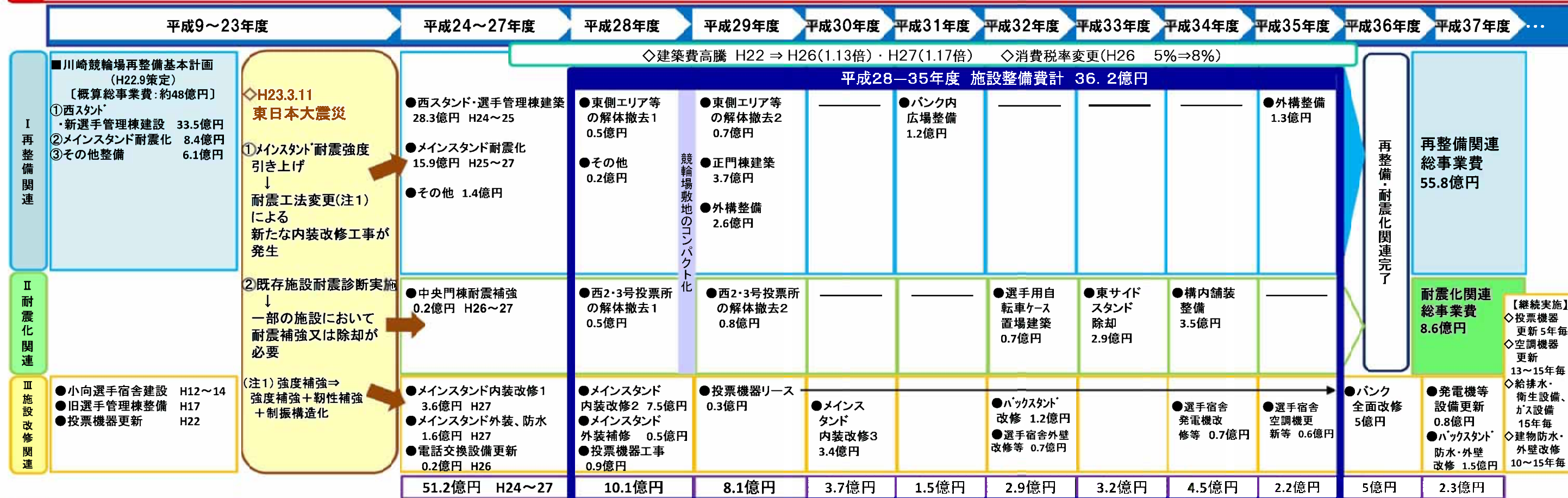
- ◆再整備基本計画に基づいた着実な事業推進
⇒「再整備メインコンセプトの実現」
- ◆東日本大震災発生を契機としたメインスタンド耐震強度引き上げ
既存施設の耐震診断に基づく耐震化・除却
⇒「安全・安心な競輪開催」
- ◆競輪場にある施設（バック、観客施設、選手宿舎等）・設備（電気、衛生、空調設備）の耐用年数に応じた整備・改修
⇒「安定的な競輪開催」

6 施設整備（再整備、耐震化、施設改修）状況





7 施設整備（再整備、耐震化、施設改修）スケジュールについて



8 川崎競輪場再整備基本計画コンセプトを踏まえた事業運営について

■再整備基本計画コンセプト		具体的な取組
公園との一体感を感じられる空間づくり	①公園と調和した市民が入りやすい環境づくり	●富士通スタジアム川崎との連携による市民利用拡大 ●アメニティ機能向上による公園来場者の誘導
	②市民と競輪ファンが楽しめる施設づくり	●戦略的な広報・イベント等の実施によるイメージアップ ●市民・競輪ファンに親しまれる競輪場愛称命名によるイメージアップ
	③市民開放・市民利用の促進	●常設ステージのあるイベント広場や、バンク内の芝生広場を整備
	④スポーツ・健康増進エリアとしての施設づくり	●サイクルスポーツを通じた新たなファン層の開拓（外国人ツアー客向け、立ち寄りスポット形成） ●自転車競技や自転車スポーツの振興支援 ●競輪選手会とJKA（競輪振興法人）等との連携によるイメージアップ
	⑤公園の防災機能充実に向けた貢献	●広域避難場所である川崎競輪場について、防災機能を拡充
持続可能な事業運営の確立に向けた施設づくり	①市財政貢献に向けた収益力の強化	●特別競輪の定期的誘致 ●ナイター開催の拡大 ●競輪場施設の利用による収益確保
	②川崎競輪場の魅力の維持・向上	●施設整備による快適な観戦環境の提供
	③集客力に応じた施設の再編・最適化	●施設のコンパクト化による警備・清掃費・光熱水費の縮減
	④事業内容に即した機能の集約・効率化	●包括的な業務委託による運営コストの縮減 ●事務の効率化による職員運営体制等の見直し
	⑤環境に配慮した施設・設備のリニューアル	●西スタンド屋上設置する太陽光パネルによる発電利用

【包括的な業務委託の実施】

・多数の委託業務を一括して1つの業者に委託（平成29年度から実施予定）

●実施の目的

- ① 事業運営コスト削減による収益の確保
- ② 民間ノウハウを活用した創意工夫によるイメージアップ及び集客力・売上向上
- ③ 富士見公園にある施設として市民に親しまれる競輪場の確立・サイクルスポーツ拠点化

9 競輪事業特別会計の収支見込について

(単位：億円)

区 分		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
歳入	競輪事業収入	161.7	193.1	157.9	188.5	156.1	187.6	155.4	187.0	154.8	186.3	154.2
	基金繰入金	18.7	10.2	9.0	3.7	1.5	2.1	3.2	3.8	1.6	3.3	0.3
	前年度繰越金	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	合計	181.6	203.5	167.1	193.4	158.8	190.9	159.8	192.0	157.6	190.8	155.7
歳出	競輪事業費	176.7	205.1	182.8	188.0	153.5	185.2	154.2	185.9	152.2	185.7	151.5
	(JKA交付金)	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
	(競輪場整備費)	21.1	10.5	9.2	3.8	1.6	3.0	3.4	4.7	2.4	5.5	2.5
	一般会計繰出金	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5	1.7	1.7	2.0	2.0	2.0	2.0
繰越金	公営競技納付金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
	基金積立金	2.4	1.9	1.6	2.7	2.6	2.8	2.7	2.8	2.1	1.8	0.9
	合計	180.4	208.3	165.9	192.2	157.6	189.7	158.6	190.8	156.4	189.6	154.5
	単年度収支	3.7	3.2	3.1	4.2	4.1	4.5	4.4	4.8	4.1	3.8	2.9
次年度繰越金(歳入-歳出)		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
競輪施設等整備事業基金 残高		14.5	10.1	3.7	2.6	3.7	4.4	3.9	2.9	3.3	1.8	2.4
競輪事業運営基金 残高		9.3	5.4	5.5	5.5	5.5	5.6	5.6	5.6	5.7	5.7	5.7

・単年度収支＝(競輪事業収入＋基金繰入金)－(競輪事業費＋公営競技納付金)